

## 子どもの姿 ことり組（年中組）平成31年4月

進級して新しい生活が始まった4月。新しい保育室や名札、自分のマークを喜んだり、「ことり組さん」と呼ばれることに、お兄さんお姉さんになった嬉しさを浮かべた笑顔で、胸を張って返事をしたりする姿が多く見られます。中には、これまでとは違う環境に少しドキドキしている姿もありましたが、そんな不安な気持ちも受け止めながら、まずは安心して自分らしさを出していけるよう寄り添っていきたいと思います。



### 『ヒーローショーにどうぞ！』

はな組のときはウレタンの柔らかい積み木でしたが、ことり組になると木製の積み木に変わりました。「ことり組のお兄さんお姉さんになったから、木の積み木でも上手に使って遊べると思って用意したんだよ」と、どうしたら安全に使えるかをみんなで話すと、「あんな、木やから重たいねん！」「落としたら痛くなる」「こうやって（両手で持つて）運ばなあかん！」と考えたことをはりきって話す子どもたち。みんなで約束を確認した後は、木の積み木を喜んで遊び始めました。四角や長四角、三角、板など、積み木の形を意識し、組み合わせながら家やお城、物を転がすコースなどをつくることを日々楽しんでいます。

ある日、お城のようなものつくっていたAくんたち。できあがると、ステージに見えたようで、「ヒーローショー始まりま～す！」と言いました。一緒に遊んでいたBくんたちも、その言葉を聞いてヒーローに変身したり、椅子を持ってきて並べ「先生、お客様になって」と誘ったり。教師も「ヒーローショーが始まるの？ 楽しみ～！」と客席に座ると、Aくんたちは喜んで壁に隠れ、ヒーローになりきって飛び出し、ポーズを決めます。「かっこいい～！」と拍手をすると、どうだ！というような表情で決めるAくんたち。すると、Bくんが「チケットいるなあ」と言い、ハサミと紙を取り、チケットをつくり始めました。そんな姿を見てAくんたちも製作コーナーに行き、箱などの廃材でヒーローの持ち物をつくり始めました。

ヒーローショーのお知らせ係になりきっていたCくんが、「もうすぐ2回目が始まりま～す」と言うので、色々な友達とかかわる機会になればと思い、ままごとで遊んでいたDちゃんたちに「ヒーローショーがあるんだって！一緒に見ない？」と誘ってみました。始めは恥ずかしそうにしていたDちゃんたちでしたが、教師が「チケット売り場はここかな」と見に行くと、チケットをつくりていたBくんが「チケットどうぞ！」とDちゃんたちにも配ります。そしてみんなで客席につきます。さあ2回目の開演！つくったヒーローの持ち物を身につけて、なりきったAくんたちが登場！お客様になった教師が拍手をすると、Dちゃんたちも拍手をしたり、にっこり笑ったり、ヒーローショーの世界を楽しみました。「次は握手会です」とBくん。客席にきてDちゃんたちと握手をしたり、「これもどうぞ！」と急いで紙に自分なりのサインを書いて渡したり、最後は「写真撮れますよ～」とAくんの言葉で、BくんたちヒーローがDちゃんたちの手を優しく取り、ステージに連れて行ったりして、色々な友達とかかわって楽しんで遊ぶことができました。



ヒーローのかっこいいやつつくるねん！



ヒーローのジャンプキック！



ここに貼るの手伝ってあげる！



きっとヒーローショーに行った経験があるのでしょう。遊びの中にも取り入れ，“こうしたら面白そう”“次はこうしたい”とイメージを膨らませて遊ぶことを楽しんでいました。遊びを見つけ，“楽しい！”“なんでだろう”“面白い！”などたくさん心を動かし、夢中になって遊ぶ楽しさを味わってほしいなと願っています。また、今は年少の時にできた気の合う友達と一緒に遊ぶことが楽しく、ヒーローショーごっこのように“ヒーローショー”という大きなイメージを共有しつつ、一人一人がヒーローになりきったりチケットをつくったり、やりたいことを楽しんでいます。友達と遊ぶのって楽しい！と思えるよう、また、クラスの色々な友達とかかわるきっかけにもなるよう、教師も一緒に遊びながら、一人一人の思いやイメージしていることを橋渡ししていきたいと思います。

握手しましょう！



最後は写真撮れます！



『見て見て！回ってる～！』

保育室に飾ってあった風車を見て、「これ前遊んだなあ！」と、はな組の時のことを思い出して興味をもっていた子どもたち。今年は、大事にパーツを手に取り、手先を使って教師と一緒に自分の風車をつくるとしました。できあがるととても嬉しそうに風車を持って園庭を走ります。保育室に帰るとき、階段で立ち止まると、風が吹き抜けてくるくると風車が回ります。「（自分が）動いてないのに回ってる！」と興奮気味のEくん。その声を聞いて隣にいたFくんも風車を見ましたが、風が止んでしまい回っておらず「あれ？Fくんの回ってない…」と少し寂しそうに言い、一生懸命自分でふう一つ吹いて回します。また風が吹き抜けると、今度は2人の風車が勢いよく回り、「見て見て！回ってる～！」と嬉しそう。教師も「本当だ！走ってないのにすごい回ってる！不思議だね」と声をかけると、「風すごいなあ」とにっこりのEくんでした。

自分でつくりたことで風車により思いを寄せ、毎日風車を手に取っています。風車が回る、回らないと目で見て風を感じていたEくんたち。また、2階になったことでこいのぼりもよく見え、泳ぐこいのぼりを見てはみんなで大喜びしたり、風がなく静かなこいのぼりを見ると「寝てるんかな」と話したりしています。思いを寄せる可愛らしい姿も大切に受け止めたいです。